



発行責任者：羽生 英之

TOP MESSAGE

GM通信 2025年もあとわずかで終わります！

月日が経つのは本当に早いもので、2025年もあとわずかで終わってしまいます。毎年同じことを繰り返しているはずなのに年齢を重ねるにつれ何とも言えない感覚が湧いてきます。焦燥感とは少し違うのですが、似たような感覚ですね。困ったものです。

さて先日、来年開催されるサッカーワールドカップの組み合わせ抽選会が行われました。我が日本代表は予選リーグでオランダ、チュニジア、ヨーロッパプレオフの勝者との対戦になりました。これから日本サッカー協会は総力を挙げて代表チームの戦いの準備に当たります。多くの国でプレーする代表選手の動向をチェックし、キャンプ地を選定し、戦いに臨む代表選手を決定する等々。とにかく頑張って欲しいです。

ワールドカップに出場する48か国の中既に42か国が決定しています。そこでグローバルスクールの子供たちに白地図を配り、出場国を探して色を塗ってもらいました。そして各国の人口や首都を書いてもらいました。今回の大会から出場国枠が32から48に広がったことで、これまで本大会の出場権を勝ち取ることができなかった小国が本大会まで勝ち進んで来ています。ワールドカップ出場を決めた国で、カーボベルデという西アフリカの島国は人口わずか52万人です。江東区の人口よりも少ないですね。また、キュラソーというカリブ海の島国の人団は18万人です。こんな小国が全世界で最も大きなスポーツ大会であるサッカーのワールドカップに出てくるのです。なんと素晴らしいことではないですか。世界中の多くの人々が知らなかったこれらの国々のことに少なからず関心を持つようになるのですから。

グローバルスクール生にはこの人口という数字が国力を測る大きな目安になるという話をしました。さらに白地図上に色を付けた国々の共通点について考えてもらいました。いろいろあるとは思いますが、今回は出場を決めた多くの国が海に面していることに着目してもらい、なぜ海に面している国が多いのかという考察をしてもらいました。これにも多くのことが考えられますが、海に面している国は他国との貿易において優位性があるということに絞って話をしました。貿易が盛んになれば国が豊かになり、サッカーにおいては国が強化や環境整備に使うことができるお金が増えるということにもつながってくるのです。世界地図を広げて海の交通の要衝、例えばパナマ運河は太平洋と大西洋を結ぶ要衝だとか、マラッカ海峡はアジアと中東・ヨーロッパを結ぶ最重要航路だとか、ホルムズ海峡は中東の石油輸送の生命線だとか、そういう話を家庭でもして欲しいです。また中国がなぜ台湾を重視するのかとか、日本は海洋国家だから大きなチャンスに恵まれるはずだという話もしました。これらは彼らにとっては少し難しいかなとも思ったのですが、想像していたよりも食いついてくれたので良かったです。

この後に英語の先生とも話をしました。自分たちと同じ考え方を持つ人たちの方が世界的に見れば少ないということ、思考方法や感じ方は自分たちが置かれた環境に左右されること。これらは隣国とどのようにつながっているとか、それによってどのような付き合い方になっていったとかに関わっているのです。そのような観点も英語の授業に取り入れて欲しいという話をしました。英語を学ぶだけではなく世界の中の日本、日本人という感覚を養って欲しいのです。その延長線上に日本人として考えるべきこと、自分がやらなければならないことが見えてくるはずです。その中から日本人、そして自分のストロングポイントが見えて来るはずです。英語も単に言葉を学ぶことに留まらず、文化を知り己を知るような視点も入れて欲しいという話をしました。

最近公立小学校の訪問をしています。今のところ世田谷区3校、府中市1校の校長先生、副校長先生とお会いしました。世田谷区内の小学校がダブルスクールやオルタナティブスクールに厳しい目を向けているという印象があるので、まず世田谷区内の小学校を訪問しています。まだ3校の先生としかお話できていないのですが、3校とも概ね私たちのような学校に好意的でした。バディグローバルスクールについてもっと知りたいと言っていただきましたし、私たちと連携することについても前向きでした。グローバルスクールに出席していて、きちんと学習できていれば公立小学校の方も出席扱いにしてくれている学校もあります。あくまでも校長判断になってしまうようですが、公立小学校に籍を置くことについては私が想像していたよりもハードルは低いという印象です。中には今は過渡期で近い将来にはもっとオルタナティブスクールに通う子供が増えるはずで、公立校との連携は当たり前になると言って下さる校長先生もいらっしゃいました。学校訪問については今後も続けたいと思います。コミュニケーションを取ることは大切ですね。

11月29日に第2回プログラミング発表会を開催しました。全体的にみると1回目に比べ随分プレゼンテーションが上手になりましたし、技術的にも格段の進歩が見られました。アウトプットの機会があるのはいいですね。上達の速度が上がります。皆レベルが高かったのですが、その中でも有明校の2人の作品が専門家から高い評価を得ました。

ひとりは女の子で、その子は高いコミュニケーション能力を持ち、普段から論理的に話すことができる児童です。私によくおばあちゃんの話をしてくれます。麻雀にも興味があるそうです。好奇心も旺盛なのですね。私はおじいちゃんやおばあちゃんと接することは成長の過程ですごく大切だと感じています。生きてきた時代背景が多様な人たちと接することは多くの学びを教えてくれます。彼女と話しているとそのことを強く感じます。私は彼女がプログラミングの分野で頭角を現すとは思っていなかったので、嬉しい驚きでした。これからに期待したいですね。

もうひとりは男の子です。普段から積極的なタイプで認知系の能力が高い児童です。彼の作品は手に入れたばかりの技術と知識をすぐに自分の作品に取り入れたところが評価されました。その児童のお兄ちゃんがたまにグローバルスクールに来て授業を見てくれます。いいですよね。帰宅してからどんなことを話しているのか聞いてみたいですね。彼の場合も家族の温かさの中で育まれていると感じます。それが彼の成長を助けているのだろうと想像できますね。次の作品も期待しています。

今年最後のGM通信はこのあたりでおしまいにします。

SCHEDULE

【世田谷校】1月の主な予定

- 1月7日 (水) 始業式
- 1月8日 (木) 金融
- 1月26日 (月) 農業
- 1月27日 (火) 金融

自然科学

河原の石図鑑をつくろう！
多摩川の石がどの様な石があるのか、また
様々な石を種別しました。児童は興味
深々。



【有明校】1月の主な予定

- 1月7日 (水) 始業式
- 1月7日 (水) 金融
- 1月19日 (月) 農業
- 1月26日 (月) 金融

農業実習

人参・赤大根の掘り方を工夫しながら収穫
レモングラスの冬越し準備(冬芽観察・株分け・落ち葉ふとん)
畑でのスケッチ・記録(いろ・香り・手触り
を表現)
グループで話し合う(来年の抱負)
冬巡りで縄結び(素材を選び、二人で協力して
しめ縄を作成
だいこん・人参・レモングラスのぽかぽか
スープを試飲)



バディグローバルスクールHP

随時、見学・体験を受け付けております。
お気軽にお問合せ下さい

TEL:03-5942-1830



©BUDDY.GLOBAL.SCHOOL